

令和6年1月 定例教育委員会 会議録 要旨

1 日 時

令和6年1月25日（木）

開会 午前9時30分 閉会 午前10時52分

2 場 所

市役所西館 大会議室

3 出席及び欠席委員

出席者 大野教育長 荒牧委員 飯盛委員 白木原委員 吉田委員 永野委員 梶原委員

欠席者 なし

4 会議出席職員

池田教育部長 秀島学校教育担当部長 田中教育総務課長 於保保育幼稚園課長 空閑生涯学習課長 吉岡文化課長 西教育総務課副課長、南里保育幼稚園課副課長、田久保文化課副課長、土井教育総務課庶務係長、永田文化課文化財保護係長

5 傍聴者

0名

6 教育長の報告事項

- ・昨日の大雪の後、今日は天気が良くなった。今日は天山の冬景色を見ながら出勤した。昨日、子どもたちは大雪を喜んでいたと思うが、各小・中学校は始業を遅らせて登校を安全に行えるように対応した。今、雪は解けてきているが、まだ寒さは厳しい状況である。高校入試もあるので天候を心配しているが、暖かい日もあり春に近づいている感じがする。
- ・インフルエンザに関しては、2校3学級で学級閉鎖があっている。健康管理には引き続き注意を払いながら、学校教育活動を進めていく。新型コロナウイルス感染症については、子どもたちにはほとんど感染はない状況である。
- ・2024年に入り、能登半島の地震や羽田空港での飛行機事故など、悲惨な状況が起きている。地震で被災された方で避難所で生活されている方もいるが、今はいつどこで何が起こるか分からない時代。自然災害や危機管理について考えさせられる日々で、亡くなられた方々のご冥福を祈り、被災者が通常の生活に戻れるように一日も早い復旧・復興を願っている。私たちも教育啓発を行う、また教育啓発を通じて自分自身の意識を高め、危機対応に備えなければいけないと思っている。また、飛行機事故の奇跡の18分というふうに言われているが、その危機対応についても教訓を得るべき。万が一に備えた危機対応について再度考える必要があると思う。
- ・一方でニューイヤーマラソンのひらまつ病院、全国高校大会のラグビー佐賀工業高校の活躍、さらにサッカー佐賀東高校のベスト8といったスポーツの力で、私たちは元気をもらった。今年はSAGA2024国スポ・全障スポ大会が開催されるが、スポーツを通じて人づくりやまちづくりができればと願っている。オリンピックも近づいており、北部九州でもインターハイが開催される。これらの機会を活かして、スポーツを通じた人づくりやまちづくりをさらに進めていく必要があると考えている。
- ・小城市は、「城創伝心」という基本目標の下で、人づくりを各課と連携し、全職員と教育委員の皆様力を借りて笑顔の多い子どもたちや市民の皆様につなげていきたいと考えて

いる。教育委員会は多くの課題を抱えており、財政面でも困難な状況であるが、現在は変革の時期でもあり、しっかりと教育委員の皆様の意見を聞きながら進めたいと思っている。

- ・ 1月4日 執務始め式、経営戦略会議
 - ・ 1月5日 東部教育事務所 所長面談
 - ・ 1月6日 小城式サイクルツーリズム出発式、フットボールセンターオープニング式典
 - ・ 1月7日 桜岡小学校タイムカプセル開封、小城市二十歳の式典
 - ・ 1月9日 第3学期始業、東部教育事務所管内教育長会、佐同教幹事事務局研修会③
 - ・ 1月11日 課長副課長会議、小城市文化財保護審議会④
 - ・ 1月12日 部落解放同盟佐賀県連合会2024年旗びらき
 - ・ 1月15日 当初予算市長査定
 - ・ 1月17日 定例小中学校長会、小城市土生遺跡調査委員会①
 - ・ 1月18日 私立高校前期入試、第2回教育委員会佐賀県連絡協議会
 - ・ 1月19日 議員勉強会、市町教育長会連合会役員会、東部管内教育長協議会①
 - ・ 1月22日 総合教育会議
 - ・ 1月23日 課長副課長会議
 - ・ 1月24日 社会教育委員の会議
 - ・ 1月25日 定例教育委員会、市青少年育成市民会議常任理事会④、市長表敬訪問（スキー）
- （以下予定）
- ・ 2月1日 私立高校後期入試
 - ・ 2月3日 土曜授業
 - ・ 2月4日 第29回高田保馬博士をたたえる会
 - ・ 2月6日 県立高校特別選抜入試
 - ・ 3月5日～6日 県立高校一般選抜入試

【質問・意見】

◇C委員

総合教育会議について、帰る際にはもっと意見を言うべきだったと思った。総合教育会議は市長や市長部局の職員の方も出席しているため、私たちからの意見だけでなく、意見交換会があればもっと有意義な場になるのではないかと感じた。

◇教育長

総合教育会議は市長と教育委員の会議であり、市長部局の職員にとっては、事務局として情報を把握するための会議であるため、この形式ではなく意見交換会になると思う。議題の提案は市長部局から提示されるが、教育委員と情報を共有しながら市長と教育委員が意見を述べられるようにしたいと思う。

【結果】

承認

7 議 事

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について（公開）

【結果】

承認

【議案第17号】

令和6年度小城市教育の基本方針について

◇教育総務課長が説明

提案理由は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 25 条第 2 項第 1 号の規定により、承認を受ける必要があるため。

重点目標 7 つのうち、3 項目を変更している。

1 つ目、令和 5 年度は「新しい生活様式を取り入れた安全・安心な居場所づくり」を、令和 6 年度は「安全で安心して過ごせる居場所づくり」に変更、2 つ目、令和 5 年度は「基本的な生活習慣の定着と家庭教育力の向上」を、令和 6 年度は「SAGA2024 国スポ・全障スポを機にスポーツを通じた生活習慣づくり」に変更、3 つ目、令和 5 年度は「土生遺跡史跡指定 50 周年を機に市内遺跡の再確認とその啓発」を、令和 6 年度は「地域の歴史・文化に触れる機会の創出」に変更した。

【質問・意見】

◇A 委員

昨年と見比べたが、「安全で安心して過ごせる居場所づくり」という基本方針が残っているが、「基本的な生活習慣の定着と家庭教育力の向上」が無くなっている。来年度の方針としては、「SAGA2024 国スポ・全障スポを機に」というところはいいと思うが、「基本的な生活習慣の定着と家庭教育力の向上」という部分は教育の基盤として欠かせないものであり、小城市の教育において必要不可欠だと思う。そのため、残すべきだと思う。

◇生涯学習課長

「基本的な生活習慣の定着」として取り組んでいた家庭教育支援事業の中の主な取組が、来年度その予算を削減し、その柱とする取組が無くなってしまったので、新たな重点目標を設定すべきだと考え変更した。

◇教育長

教育啓発の観点からは、「基本的な生活習慣の定着と家庭教育力の向上」という言葉が重要であり、生涯学習課だけでなく学校教育も連携しながらこれを目指さなければならない。施策の重点目標という観点からはこの言葉を外しているが、市民の観点からするとこの言葉は必要かなとも思う。施策の観点からすると事業のやり方が変わることもあり、外しているが、重点目標が 8 項目でも問題ないと思う。教育委員の皆さんの意見を伺いたい。

◇F 委員

私も 8 項目でもいいと感じた。国スポも重要であり「スポーツを通じた生活習慣づくり」と「基本的な生活習慣の定着と家庭教育力の向上」をそれぞれの項目として定めていいと思う。

また、ICT の活用については、これからもう一歩進んで教育 DX の推進も含めて検討してもいいのではないかと思う。「広い教養の育成と家読（うちどく）の推進」についても、推進された現状を踏まえて、さらに一歩進める方法もあるのではないかと思う。

◇E 委員

最初は重点目標に「基本的な生活習慣の定着と家庭教育力の向上」がないことに疑問を持ったが、文章の他の部分を考慮するとそれがベースであり、なくてもやる事は当然と理解してもいいのかなと思った。令和 5 年度よりも文言はわかりやすくなり、令和 6 年度ならではの SAGA2024 を捉えた重点目標もうまく組み込まれていると感じた。1 点質問だが、「安全で安心して過ごせる居場所」の具体的なイメージを教えてください。

◇生涯学習課長

この表現にすることで施設整備の主にハードな部分と受け取られるかもしれないが、市民全員に向けてソフトな要素とハードな要素の両方を提供する居場所づくりやそのきっかけを提供していきたいと考えている。

◇学校教育担当部長

学校の中のイメージとしては、子どもたちにとってはいじめや不登校への対策が充実していることが重要で、それによって安全で安心できる居心地の良い環境が作られると考えられる。また、先生方の働き方改革を推進していくことで先生方の居場所づくり、過ごしやすい学校づくりにつながると思うので、子どもたちだけでなく先生たちにも配慮する必要があると思う。

◇教育部長

家庭教育力の向上について、行政では困難な部分があるため、学校や保育所の先生と保護者の個別の会話、対応などを通じて支援してきた。基本方針や家庭の力も重要であると思うが、重点目標については令和6年度、事業的にどこに重点を置いて臨むかということだと思う。事業としては、居場所づくりや放課後児童クラブの拡充などの事業を進化させたり変化させたりして行っているが、家庭教育力の向上をどのように捉えるかが重要であると思う。

◇C委員

誰の目線で考えるかとしたときに、市民の立場を重視した目標を設定し、行政の施策はその目標を達成するために行われるべきだと考えた。施策は行政の意図に基づいて行われるが、目標は市民の全体的な目標であるべきだと感じた。

◇教育長

今日の議案に教育委員の皆様から意見をいただいたので、これらの意見を参考にして改めて来月、議案として提出させていただきたい。

【結果】

取下げ

【議案第18号】

小城市フットボールセンター条例施行規則の一部を改正する規則

◇生涯学習課長が説明

提案理由は、使用料の減免対象の見直し等に伴い規則を改正するため。

改正内容は、第2条第3項の利用申請書の受付時間について、施設の管理を令和6年1月から委託したことに伴い、申請受付を施設の開場に合わせるため第3項を全文削除し、第4項を第3項に繰り上げ、第3項中の「及び受付時間」の文言を削除する。

次に、今年度3月までの管理委託並びに4月からの指定管理に伴い、収入を確保していく観点からも、受益者負担の原則を前提に使用料の減免を見直すため、第6条を改正する。第2号、学校又は学校で構成する団体が行う行事の全額免除と、第3号、小城市の社会教育関係団体及びその加盟団体が主催する行事の全額免除、又は50%減免を削除し、第4号を第2号へ繰り上げる。

【結果】

承認

【議案第19号】

小城市重要文化財の指定について

◇文化課長が説明

提案理由は、小城市重要文化財保護審議会から答申を受けた文化財について、小城市文化財保護条例第4条第1項に基づき、文化財に指定するため。

答申を受けた文化財は、木造弥勒仏坐像1軀、木造阿弥陀如来坐像1軀の計2軀。所在地は、小城市小城町松尾588番地、円明寺。木造弥勒仏坐像の体内銘には、千葉氏の禅宗帰依や未来の子孫繁栄の願いを、木造阿弥陀如来坐像の体内銘には、過去の幽霊を弔うことが記されている。円明寺では、既に佐賀県重要文化財の指定となっている本尊の木造地藏菩薩

半跏像を含めた三世仏の造立は、千葉氏の統治による恩恵が、過去、現在、未来に及ぶことを示す意図があったことが推察される。千葉氏の信仰の一端を具体的に物語るとともに、南北朝時代の14世紀の小城の信仰と文化を物語る資料であり、小城市重要文化財として十分な価値を有するものであると答申をいただいた。

【質問・意見】

◇A委員

この2体を見て、こういう重要なものが小城市にあるということを再確認した。答申に書かれているが、この2体が制作建立された時期は南北朝時代で、政治的には世の中が混乱期にあった時期だと思う。そのため世の中の平和を願ってこのような坐像が制作建立されたものだと感じた。

また過去、現在、未来の日本中世の三世仏では極めて珍しいものが小城市に3体ある。こういう珍しいものが小城市にあるということは、当然、重要文化財の指定に相当するものだと感じた。

【結果】

承認

第2 報告事項

【報告第37号】

小城市育英資金・小城市小柳育英資金貸付学生募集要項及び小城市給付型育英資金奨学生募集要項について

◇教育総務課長が説明

報告理由は、令和6年度小城市育英資金・小城市小柳育英資金貸付学生募集要項及び小城市給付型育英資金奨学生募集要項を定めたため。

小城市育英資金・小城市小柳育英資金の資格要件、募集人数等については、前年と変更なく、小城市育英資金は小城市内に住所がある方で8人以内、小柳育英資金は小城町内に住所がある方で2人以内で募集を行う。

給付型育英資金の募集要項も資格要件、給付金額等の変更はなく、年額24万円の給付で募集を行う。

【結果】

了承

8 その他

(1) 教育委員会の共催及び名義後援事業について

◇教育総務課庶務係長が説明

①佐賀シティビジョン株式会社「第7回ぶんぶんテレビ杯ミニバスケットボール大会」

後援申請

②宮城復興支援センター「国際交流&イングリッシュキャンプ」後援申請

以上、後援2件承認で報告する。

【結果】

了承

(2) 令和6年小城市二十歳の式典参加状況について

◇生涯学習課長が説明

1月7日、日曜日に令和6年小城市二十歳の式典を執り行った。式典については、今年も4会場とも滞りなく無事に終えることができた。

今年から来賓についても、市議会議員、県議会議員、各町の区長会長、副会長に案内したところ、ほぼ全ての方に参加していただき、祝っていただいた。

式典の参加予定者総数は506人で参加者実数は391人、77.3%の参加率で、昨年よりも若干増加した。

現在、ライブ映像の編集を作業しており、今後、編集作業が完了してからアップロードする予定である。

【結果】

了承

9 次回定例教育委員会開催日程及び場所

◇定例会

【日 時】 2月22日（木） 午前9時30分から

【場 所】 小城市役所 西館2階 2-6会議室

10 議 事【非公開】

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について（非公開）

【承認】

第2 協議事項

【協議第7号】

就学援助（準要保護）の認定について

【了承】

第3 報告事項

【報告第38号】

就学援助の認定について

【了承】

【報告第39号】

教育委員会事務局職員の休職について

【了承】